

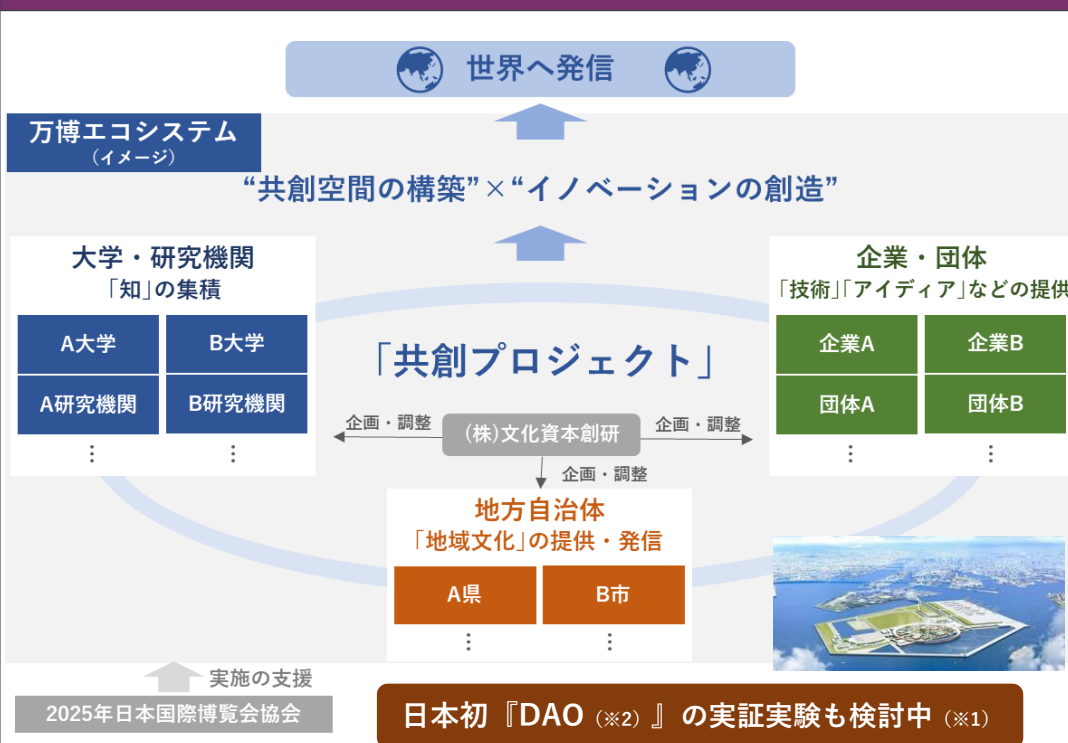
## 提案内容

弊社は、2025年万博で万博史上初のデジタル空間における「サイバー万博（仮称）」に、「大学連合」×「産学官民連携」での共同出展の企画・運営を拝命し、大学と共同で出展に向けた準備を進めています。  
当プロジェクトは万博への出展は目的ではなく手段として、①「大学連合」×「産学官民連携」の共創関係の構築を通じて、脱炭素や食料問題・貧困問題などの様々な「いのち（万博のテーマ）」に関わる社会課題の解決のための解を共創の中から導き出すこと、及び、②日本人が日本の地域文化を再発掘してデジタル空間で世界に発信すること、の2つを究極のゴールとして出展に向けた準備をしています。  
（なお、日本初の『DAO（※2）』の実証実験も現在検討中（※1））  
「社会課題の解決に積極的に取り組む企業・自治体」や「地域文化を再発掘し世界に発信したい自治体」などからの参加をお待ちしております。

## 主な対象者

- ① 企業…「大学と共働で技術を深掘り & イノベーションを起こしたい（主な領域：脱炭素・エネルギー・モビリティ・医療・食料など）」  
「世界に発信したい技術がある（例：サーキュラーエコノミーに関わるベンチャー企業など）」  
「出展できる技術はないが、共創エコシステムに加わりたい又は貢献したい（例：大手企業、VR/AR/MR関連企業、映像制作会社、インフラ会社、メディアなど）」
- ② 自治体…「デジタル空間などを利用して世界に発信したい地域資源（例：食文化、伝統芸能 & 美術品、伝統音楽など）がある。」

## 万博PJを通じた共創イノベーションの創出イメージ



## 主な企画案一例（※1）

- ✓ 最新技術の発信～VRなども活用して～  
（グリーン（脱炭素・循環型社会含む）、医療・ヘルスケア、宇宙、モビリティ、身体拡張、食料など。）
- ✓ 「日本文化」×「VR」デジタル展示
- ✓ 日本食ハイブリッド企画
- ✓ 研究者による“SDGs最新事例”と“あるべき社会未来予想図”講座
- ✓ デジタルハッカソンなど

## 万博上のデジタル空間で発信 （&リアルを融合したハイブリッド企画も）

## 参加メリット

- ✓ 大学などとの垣根を越えた共創関係 & イノベーション創出
- ✓ 『世界の見本市』である万博のデジタル空間を利用した世界への地域文化・技術の発信

## SDGs 主な関連項目



## 提案者

会社名	株式会社 文化資本創研
URL	<a href="https://bunkashihon.jp">https://bunkashihon.jp</a>
事業内容	産学連携 × サステナビリティ経営実装支援
連絡先	post@bunkashihon.jp

## 【特徴】

- 京都大学・東工大学を含む20以上の大学の300名以上の研究者と連携し、企業・自治体の社会課題の解決を支援する産学連携コンサルティング会社
- 公認会計士、環境専門家、IT & DXプロ、CSRスペシャリストなどの専門家集団による上流から下流までの課題解決が可能
- 「脱炭素」・「SDGs」・「オープンイノベーション」の推進などのコンサルティングを中心に行う。

（※1）現状の素案の一部であり、万博協会などとの調整などにより実施しない場合もあります。  
（※2）DAO：Decentralized Autonomous Organizationの略称であり、Web3.0の世界における分散型自律組織。